

報道関係者各位

ウォール・ストリート・ジャーナル日本版
2011年 WSJ アジア・ベスト・アナリスト・ランキング発表

<http://japan.WSJ.com/>

2012年5月14日

ウォール・ストリート・ジャーナル・ジャパン株式会社

ウォール・ストリート・ジャーナル (WSJ) 日本版 (編集長: 小野由美子) では、本日 WSJ アジア・ベスト・アナリスト・ランキングを発表いたしました。このランキングは、アジアの129企業1,500人以上のアナリストが選定した銘柄のパフォーマンス調査に基づき、10カ国・地域/21産業分野それぞれについて、各銘柄の年間投資リターンに乗数(「買い」は1、「ホールド」は0、「売り」は-1)をかけてスコア化した数値を基にトップ3のアナリストを選出しているもので、昨年に引き続き今年で2回目の発表となります。

アジア地域全体におけるセクター別ランキングでは、メディア、テクノロジー、小売りなどの分野で6人の日本人アナリストが上位に選ばれ、うち、国別ランキング(日本編)では以下の各氏がトップ3に選出されています。

<2011年 WSJ アジア・ベスト・アナリスト・ランキング: 日本編>

http://jp.wsj.com/Finance-Markets/node_442017

- ◆ 国別日本 1位 メディア部門 1位:
 小池 隆由氏 (ゴールドマン・サックス証券/メディア&インターネット)
- ◆ 国別日本 2位 テクノロジー部門 3位:
 前川英之氏 (クレディ・スイス証券/産業向け電子機器)
- ◆ 国別日本 3位 小売り部門 1位:
 上出浩史氏 (JP モルガン/小売り)*2012年4月まで在籍



<2011年 WSJ アジア・ベスト・アナリスト・ランキング 日本人上位アナリスト>

域内担当分野別ランキングでは、上記の3氏に加え、以下の各氏が上位にランクされました。

- ◆ 金融部門 2位 岡本光正氏 (メリルリンチ日本証券/保険、証券、ノンバンク)
- ◆ 金融部門 3位 大塚亘氏 (野村証券/ノンバンク) が金融部門 3位
- ◆ 産業財サービス部門 3位 桑原明貴子氏 (メリルリンチ日本証券/日本の紙・包装業界、繊維業界、ガラス・セラミックス業界)

THE WALL STREET JOURNAL.

ウォール・ストリート・ジャーナル 日本版 japan.WSJ.com

また、対象企業のうちアナリストがランクインしたのは42社で、中でも一部大手の健闘が目立ちました。最も多くのアナリストがラインク入りしたのは、9人が選出されたバンク・オブ・アメリカ・メリル・リンチ、次いで7人がラインクインしたクレディ・スイスでした。

関連記事及び詳細は、WSJ 日本版サイトをご覧ください。

http://jp.wsj.com/Finance-Markets/node_442019

以上

ウォール・ストリート・ジャーナル日本版について

「WSJ日本版」は、世界各地に存在する約2,100名の記者や編集者らによって集められた質の高い情報の中から、日本の読者向けに記事を日々厳選して、日本の編集チームにて翻訳(意訳)したニュースサイトです。グローバルな経済動向や金融市場に関心の高い日本のビジネスリーダーに対して、「The Wall Street Journal」の良質な記事コンテンツを日本語でインターネットを通じて幅広く提供しております。

- サイト開始日 2009年12月15日
- サイト名称 ウォール・ストリート・ジャーナル日本版
(英文名称: The Wall Street Journal, Japan Online Edition)
- サイトURL <http://japan.WSJ.com/>
- 主要読者 国際的なビジネスニュースへの感度が高いビジネスリーダーや投資家など
- 購読料
1カ月購読料 1,980円 (税込み)
6カ月購読料 9,960円 (税込み) 月額平均 1,660円
1年間購読料 16,560円 (税込み) 月額平均 1,380円
※一部記事の無料閲覧可能

<本リリースに関するお問い合わせ先>

ウォール・ストリート・ジャーナル・ジャパン株式会社

TEL: 03-6269-2850 / FAX: 03-6269-2853 / 担当: 原田 (平日 17:30 まで)